



令和2年度 清水小学校だより

令和3年1月29日発行

# 清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子



## 思いやりの心は はきものをそろえることから



はきものをそろえると心もそろう  
ぬぐときにそろえておくと  
だれかがみだしておいたら  
そうすればきっと

心がそろうとはきものもそろう  
はくときに心がみだれない  
だまってそろえておいてあげよう  
世界中のひとの心もそろうでしょう

先日、来校された方から、靴がきれいにそろえてあることを褒められました。子どもたちの下足箱の靴がきちんとそろっているのです。特に6年生の靴のそろい方は、見事です。さすが最上級生です。また、他の学年も6年生に負けなくらい、きちんと並んでいます。実に立派です。



【6年生の下足箱】

私たちの環境は、私たち自身の心を映し出しています。心が乱れると、机の上、部屋の中などが乱れてきます。

しかし、同時に環境も私たち自身の心に大きく影響を与えていますので、机の上や部屋を片付けると、気持ちりが整ってきます。

上に紹介した「はきものをそろえる」の詩は、篠ノ井円福寺の御先代である、藤本 幸邦（こうほう）老師が作られました。禅宗には、「足元を照らして顧みよ」という意味の「照顧脚下（しょうこきゃっか）」という言葉があります。道元禅師の言葉で、師は、「自分の履物をそろえられないような者に何ができるか、まず履物をそろえることから始めよ。」と言われたそうです。履物をそろえることから修業が始まり、他にも様々な作法を学ぶそうです。

たかが履物というなかれ。右脳教育で世界的に有名な、七田チャイルドアカデミー校長の七田 眞先生によると、「履物をそろえると、けじめと責任を教えることができ、自分自身を振り返る習慣が育って、それが思考力にまで高まる」ということです。

自分の履物をまずそろえることが大切であり、それができる人は、他の人の履物もそろえることができます。他の人のことを考えることができる人が増えると、心のそろった気持ちのよい学校になります。

学校では、このような思いやりの心を育てることは、とても大切なことです。思いやりの習慣を、今のこの時期から身に付けたら、居場所のある住みやすい家庭・地域・学校になるはずです。ご家庭の玄関の靴やトイレのスリッパはどうでしょうか。家庭・学校が足並みをそろえて、思いやりの心をもった子どもたちを育てていきましょう。

今年度も残り2か月となりました。学年のまとめと次の学年への準備の大切な時期でもあります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力、よろしくお願いたします。

[裏面もあります。ご覧ください。]

## 2月の主な行事予定

- 2日(火) 新入学児童保護者説明会
- 3日(水) 代表委員会
- 9日(火) たてわりタイム(解散式)
- 10日(水) 委員会活動(5・6年)
- 11日(木) **建国記念の日**
- 15日(月) きこえとことば入級説明会
- 16日(火) 授業参観・懇談会(1～3年) 学校保健委員会
- 17日(水) クラブ活動(最終)
- 18日(木) 授業参観・懇談会(4～6年)
- 23日(火) **天皇誕生日**
- 26日(金) 心のバトンフェスティバル



- ※ なかよし・たんぼぼ・わかば・すみれ学級の授業参観につきましては、各担任から連絡させていただきます。
- ※ 1日(月)～5日(金)は、身体測定の日となります。
- ◎ あくまでも予定です。変更の場合は、お知らせします。



## 笑う顔には福来たる



2月2日は、冬と春を分ける節目の日、「節分」です。春のスタートである立春を迎えるにあたって、子どもたちはどんな鬼を退治するのでしょうか。次の3つは、悪い鬼が出て行った後の心の中に福を招き入れるよい方法です。

### 笑顔を作ってみましょう

- ・唇の両脇(口角)を上げます。鏡を見て笑顔の練習をするのも効果的です。
- ・いつも笑顔でいられるのがよいのですが、なかなかそうはできません。気がついた時に、口角に力を入れてみましょう。そうすると、鼻から新鮮な空気が入り、目が大きく開いて気持ちがはっきりします。

### 大きな声を出してみましょう

- ・挨拶、歌など元気な声を出すように心がけます。
- ・普段から大きく口を開け、明るい挨拶に心がけましょう。「芸は身を助ける」と昔から言われますが、「明るく元気な挨拶は身を助ける」こと請け合いです。

### 声を出して笑ってみましょう

- ・笑うことにより、腹筋が肺を押し上げ酸素を取り入れ、脳に酸素が送られることにより、脳が活性化します。

福の源の「笑顔作り」に親子で挑戦してみたいかどうかがでしょうか。

## うれしいですね、がんばっている子どもたち

— 子どもたちの校外での活躍 — ※ 敬称略

「下村脩ジュニア科学賞 SASEBO」	奨励賞	山○	晴○	(4年)
	奨励賞	○代	○大	(4年)
「長崎県統計グラフコンクール」	入選	○	優○	(4年)
	入選	○	優○	(5年)
「市教育会主催子ども俳句大会」	銀賞	福○	喜○	(6年)
	佳作	○原	○里	(3年)
「読売学生書展」	金賞	加○	○り	(2年)

